

令和3年度

第1回 埼玉県県央地域保健医療・地域医療構想協議会

議事概要

開催日時：令和3年8月6日（金）

19：00～20：10

開催形式：WEB開催

1 開会

鴻巣保健所高林副所長が進行。

2 挨拶

小坂鴻巣保健所長が挨拶。

3 議事

内田会長が議長となり議事を進める。

(1) 令和3年度地域保健医療・地域医療構想協議会の協議内容について

資料1-1について、保健医療政策課が説明した。

資料1-2について、医療整備課が説明した。

資料1-3について、鴻巣保健所が説明した。

【資料1-3に対する意見】

(委員) 急性期を脱した患者については、病院単位で色々なところと交渉し、慢性期病床への移行を行っていると思うが、なかなかスムーズにいかないという問題がある。ぜひ、地域でのネットワークあるいは情報共有を進めていただきたい。

(会長) 医療機能の分化・連携と救急医療（一般）については、各救急医療機関の中で2次から2次半ぐらいまで、連携がとればよいと思う。救急医療機関の中でお互いの医師同士の話し合いの場が設けられて、今後、課題について話すことができればよいと日頃考えている。在宅医療については、まだまだこれからというところが大きな課題である。

(アドバイザー) 基礎データの部分について意見を述べる。地域医療構想の具体化を進めるためには、地域医療の見える化が必要である。今後議論を進めるうえで圏域の課題あるいは目指す方向を共有するためにも更に詰める

必要がある部分が2点ある。1点目は格差の是正に関することである。県内での当圏域の立ち位置と、全国と比較した際の立ち位置を確認し、得られたデータを他の圏域あるいは全県データ及び全国データと比較し、図表で見やすくするという工夫をお願いしたい。2点目は医療需要の増加予測と将来の人材確保予測である。後期高齢者の数の増加は医療介護需要の急増を私たちに教えてくれる。また、今年・来年の出生数は2040年の就業者予測に直結する。高齢化率や出生率だけではなく、後期高齢者数あるいは出生数といった数に注目した分析もお願いしたい。

(会 長) 意見を踏まえて、事務局において圏域別フェイスシートの修正・再作成をお願いしたい。

(2) 埼玉県地域保健医療計画の中間見直しについて
概要について、保健医療政策課が説明した。

(3) 令和元年度病床機能報告定量基準分析結果について
概要について、保健医療政策課が説明した。

(4) 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について
概要について、保健医療政策課が説明した。

(5) 令和2年度圏域別地域保健医療計画の取組状況について
概要について、鴻巣保健所が説明した。

【意 見】

(委 員) 特定健診や保健指導について国保だけのデータで取り扱われている。国保の加入者は市民全体のせいぜい3割程度で、残りは違う保険者に所属している。国保だけを取り上げて地域全体を評価していくというのはいかなものか。今後、市民全体が対象となるような取組ということでお願いできたらと思う。

(鴻巣保健所) 今後検討していく。

(会 長) 各行政体に対し取組状況の照会をしており、健保組合にまで内容を精査するようになっていない。もう一度どういう方向がいいか考えてもらいたい。

(6) 第7次計画公募により病床を整備した医療機関からの運営状況の報告
資料6-1について、医療整備課が説明した。
資料6-2について、埼玉脳神経外科病院が説明した。

【資料6－2の説明で資料と異なる部分】

(病 院) 一般病床15床に関しては現在稼働しており、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(SSN)にも8月5日付けで参加を申請、今月中には認定を受ける予定である。

(以 上)